

年会費・ご支援金の振込先
 郵便振替 02720-9-11016
 加入者名 オビラメの会

ご入会の方法
 年会費2,000円を左記までご送金下さい(通信欄に
 名前前とご住所を明記して下さい。手数料はご負担を
 願います)。確認次第、会員証と二ユースレターをお届
 けします。

オビラメの会は、尻別川のイトウ個体群復元活動を進めています。

尻別川の未来を考える オビラメの会とは?
 北海道・胆振地方から後志地方にかけてゆるやかに
 流れる尻別川は、「幻の魚」イトウの生息南限です。
 これまで数多の「イトウ土」たちがこの魚に挑み、1
 メートル超級の大物が剛竿を満月に引き絞ってきま
 した。しかし急激な環境破壊と乱獲のため、現在では
 尻別川のイトウは絶滅寸前といっても過言ではあり
 ません。
 「尻別川の未来を考える オビラメの会」(会長・草島
 清作)は、そんな危機的状態にある「尻別イトウ」を何
 とか救えないかと、流域のイトウ土たちと研究者たち
 が結成したNGOです。



photo Yoshitaka Suzuki

サケ目サケ科イトウ属イトウ
 学名 *Hucho perryi* (Brevoort)
 英名 Sakhaline taimen, Japanese huchen
 環境省レッドリスト絶滅危惧IB、北海道RDB絶滅危惧種

「南限のイトウ」保護にご協力ください

尻別川の未来を考える オビラメの会

イトウって、こんな魚です。

どこにすんでいるの?

日本列島では北海道だけにすんでいます。しかし北海道でも、イトウのすんでいる川はへっています。イトウが卵から生まれるのは川の上流ですが、大きくなるにしたがつて川の下流にむかい、ときには海にまで出ていきます。上流から河口まで、自由にのぼりおろしできる川がイトウには必要なのです。尻別川は野生イトウのすむ南限です。

大きさは? 寿命は?

70年くらい前、北海道の十勝川で2メートル10センチのイトウがとれたという記録があります。尻別川でも1メートル53センチのイトウが釣れたことがあります。でも卵から生まれる時はちっちゃな姿です。50センチの大きさになるまで5年くらいかかるといわれています。サケ科の魚としてはとても長生きで、ゆうに15年から20年は生きます。親になれるのは、雄で4歳くらい、雌で6歳くらいから。一生の間に何度も産卵できるのも、イトウの大きな特徴です。

尻別川のイトウ個体群は?

「尻別川の未来を考える オビラメの会」は北海道立水産解化場などの協力を得て、尻別川のイトウ生息調査を続けています。野生個体群が自力で繁殖している証拠はほとんど見つかっていません。同解化場の川村洋司主任研究員は、「生態学的には尻別川イトウ個体群はすでに崩壊していると言わざるを得ない」と話しています。

絶滅の危機に瀕しています。



photo Yoshitaka Yoshitaka



尻別川

オビラ×復活30年計画

放流種苗の確保
再生産拠点の探索

2010年 人工種苗の放流

生産拠点の確立
釣りルールの確立

2020年 河川全域への展開

イトウのすめる
釣れる尻別川

2030年 オビラ×の会解散

尻別川の野生イトウ個体群は、単に二川の環境を復元するだけの保護対策では、もはや絶滅回避は不可能なほど、深刻な状況におかれています。人工増殖をふくむ積極的かつ長期的な手当てがどうしても必要で、「オビラ×の会」は2001年、研究者たちのアドバイスを受けながら、この「オビラ×復活30年計画」を立てました。

最初の10年間（～2010年）は、尻別川産イトウのベアから人工孵化で得た稚魚を飼育し、きたるべき放流のための種苗生産をおこないます。
次の10年（2011～2020年）では、あらかじめ禁漁区に設定するなどした復元モデル地区を拠点に、放流イトウの野生復帰をサポートします。

そして最後の10年（2021～2030年）では、尻別川流域の全体でイトウ復活を図ります。ここまでくれば尻別川のイトウから「絶滅危機種」のラベルを外すことができるでしょう。

三十年かけて
これから
尻別川の環境を
三十年かけて
復元していきなう

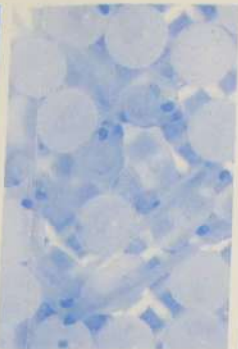


Photo Yoshifusa Sasaki

「オビラ×の会」の活動ご紹介

- 尻別イトウの遺伝子確保のため、人工増殖を試みています。情報を集めています。
- 尻別川をめぐる社会環境を研究し、イトウ生息地復元のためのプランを提案しています。
- イトウ保護の必要性を世論に訴えています。
- 地域の学校などに協力して、イトウをはじめてとする自然環境保全の大切さを子供たちに伝えています。

制作・著作／尻別川の未来を考える オビラ×の会 2004年

彼らを救うために、わたしたちができること。